

令和4年度(令和3年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

建設部都市計画課

建設部長 村瀬 浩之

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
24-1	半田運河周辺整備事業	あり	B	半田運河と新川の合流地点に人道橋を整備することで、南北に行来する歩行者の利便性と安全性の向上を図ることができた。また、橋の名前を市民などに広く募集したことで、多くの方に知ってもらい、愛着を持っていただける橋とすることができた。	終了	当事業は令和3年度で完了。
24-2	亀崎無電柱化等整備事業	あり	B	本線部分の設計については、地元協議会の協力も得る中で、電線管理者や地域住民との協議を重ね、地上機器の設置位置などを決定し、設計を進めることができた。今後は、枝線部分の設計を進めるが、地中から電線を立ち上げるための建柱位置などについても地域住民の理解を得ながら決定し、進めていく必要がある。	現状維持	令和8年度中の工事完了を目指し、計画的に事業を進める。令和4年度は、電線管理者や地域住民との協議・調整を図り、枝線部分の設計を進め、整備計画を策定する。
24-3	公共交通対策事業	あり	B	バス利用者数は目標値を下回ったものの、コロナ禍に対応したコミュニティバス車内における抗菌・抗ウイルス対策の継続や大型商業施設イベントでの乗車体験・バスの乗り方説明、地元バス会を通じた各地域の住民ニーズに合わせた広報の実施などバス環境の向上や利用促進を図ったことで、コロナ禍における利用者の減少を食い止めることができた。また、交通空白地域となっていた成岩東部地区・瑞穂地区では地区路線B（成岩東部線、瑞穂線）の導入により新たな交通手段を確保し、有脇地区では路線バス以外の交通手段としてタクシーを利用した制度の実証実験を実施した。今後は、実証実験の結果を踏まえ、本格導入に向け取り組んでいく。	拡充推進	既存路線については、利用を促進するため、バスロケーションシステムの運用やインターネット上のバス情報の発信強化、地元バス会との協働による広報活動の推進を図る。 加えて、地区路線Aごんくろの小学生運賃無料化やお得な乗車キャンペーン等の実施により、公共交通への関心を高めることで、移動手段のひとつに公共交通バスを取り入れるきっかけづくりを行う。 また、引き続き、交通空白地域の解消を図るため、有脇地区ではタクシーを活用した新たな制度を本格導入するとともに、他の地域でも新たな交通手段の確保に向けた取組を進める。
24-4	公園整備・改修事業	あり	A	市民が公園を安全かつ快適に利用できるよう、継続的に公園施設の点検を行いながら、老朽化した施設の計画的な整備改修を進める必要がある。	現状維持	職員によるパトロールのほか、遊具などについては、専門業者による点検により状況を把握し、適正な管理により、利用者の安全確保に努める。また、利用者が快適に利用できるようにトイレ等公園施設の改修を進める。
24-5	(仮称) 南廻間池公園整備事業	あり	B	工事現場の状況から、工事完了を令和4年4月25日まで延期し、供用開始が僅かに遅れたが、平成30年度から継続して地域住民と協議を重ねることで、地域の意向を反映した公園整備を進めることができた。	終了	

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
課等長	1次評価（令和3年度の総括評価）					
	B	<p>半田運河周辺整備事業では、歴史的な景観と調和した人道橋の整備により、半田運河周辺の回遊性、安全性の向上を図ることができた。また、橋の名称について、市民などに広く募集を行い、地域の方に親しみを感じてもらえる人道橋となった。</p> <p>亀崎無電柱化等整備事業については、電線管理者や地域住民との協議を重ね、地上機器の設置位置などを決定し、本線部分の設計を完了することができた。</p> <p>公共交通対策事業については、バス環境の向上や利用促進を図るとともに、令和3年9月には交通空白地域となっていた成岩東部地区・瑞穂地区で新たな交通手段として、地区路線B（成岩東部線、瑞穂線）を導入した。また、有脇地区では、路線バス以外の交通手段として、おでかけタクシーの実証実験を実施することができた。</p> <p>公園整備・改修工事については、令和2年度に国の補正予算を確保し、老朽化した公園施設の整備改修を進めることができた。</p> <p>（仮称）南廻間池公園整備事業については、工事完了を令和4年4月25日まで延期し、供用開始が僅かに遅れたが、地元と意見交換を重ねながら協働で整備に取り組み、地域の意見を反映した公園整備を進めることができた。</p>				
部等長	2次評価（令和3年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）					
	B	<p>半田運河人道橋については、景観に配慮し、回遊性の向上のため整備を行ったが、今後、庁内で連携し、橋が活かされるまちづくりを進めること。</p> <p>亀崎仲町通りの無電柱化については、地元住民の理解を得ながら、令和5年度からの工事に向けて、しっかり進めていくこと。</p> <p>公共交通については、市民との協働により、既存路線の利用促進を図るとともに交通空白地域については、地域のニーズに合わせ、解消を進めること。</p> <p>公園等の管理については、専門業者による点検や管理のほか職員によるパトロールを継続して行い、危険な箇所を早期に発見し、対応すること。また、点検、パトロールの結果に基づき、計画的な修繕・改修に努めること。</p> <p>有脇ふれあい公園は、地域の公園として維持管理も含め、多くの方に愛着を持って利用してもらえるよう働きかけること。</p>				